

非常通信セミナー 【アンケート集約結果】

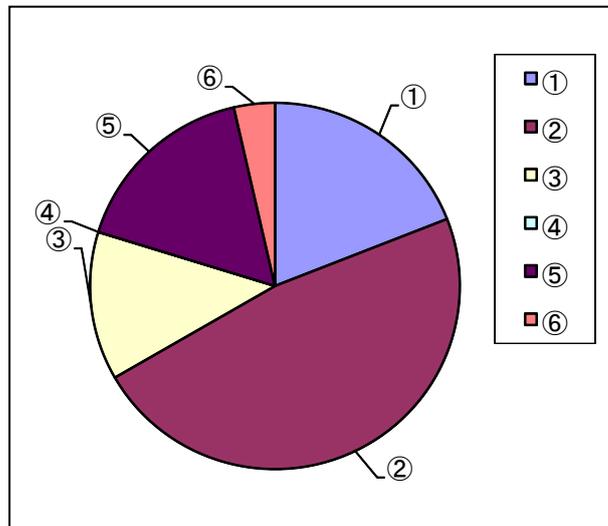
- 日時 平成25年6月27日(木) 15:00~16:15
- 会場 広島ガーデンパレス 2階 孔雀・朱鷺の間
- 主催 総務省中国総合通信局、中国地方非常通信協議会、中国情報通信懇談会
- 協賛 情報通信月間推進協議会
- 参加者数/アンケート回収数 120名/77名 (回収率64.2%)

1 開催を何でお知りになりましたか。(複数回答可)

どこから

- ①中国総合通信局
- ②中国地方非常通信協議会
- ③中国情報通信懇談会
- ④新聞等
- ⑤上司・同僚・知人等
- ⑥その他

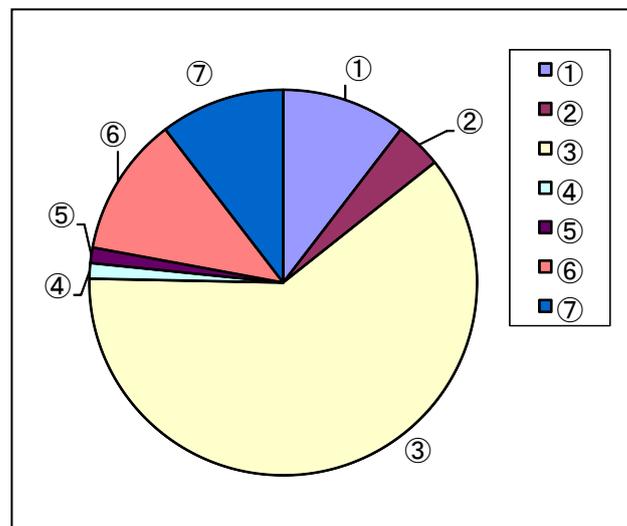
番号	回答数
①	16
②	40
③	11
④	0
⑤	14
⑥	3
計	84



どのような方法で

- ①HP
- ②メールマガジン
- ③メール
- ④記事等
- ⑤FAX
- ⑥直接聞いて
- ⑦その他

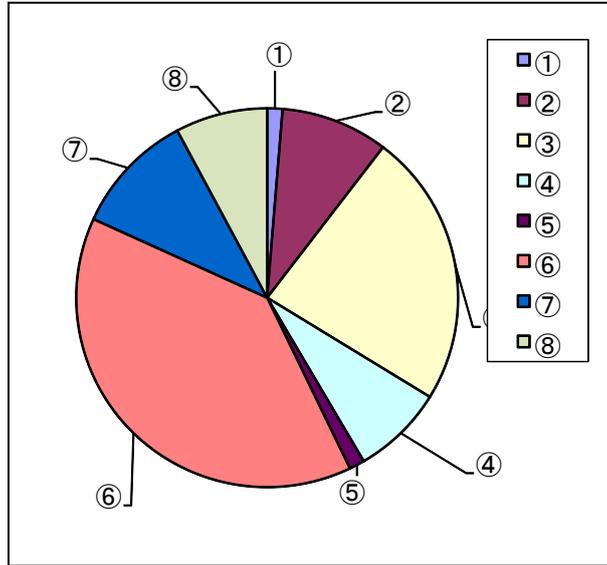
番号	回答数
①	8
②	3
③	47
④	1
⑤	1
⑥	9
⑦	8
計	77



2 貴方が所属する企業・団体の主な業務分野は次のどれですか。一つ選んで番号に○印をつけてください。

- ①製造・販売 ②エネルギー ③情報通信 ④放送 ⑤サービス ⑥公務
 ⑦事業 ⑧個人

番号	回答数
①	1
②	7
③	18
④	6
⑤	1
⑥	30
⑦	8
⑧	6
計	77



3 本セミナー各話題についてご意見・ご感想をお願いします。

講演『電磁気情報の観測による地震予測』

講師：電気通信大学教授・地震電磁気研究ステーション長 芳原 容英 氏

大変参考になった	16	興味がわく話だった	42
参考になった	40	興味がわかない話だった	3
あまり参考にならなかった	6	おもしろかった	12
全く参考にならなかった	1	つまらなかった	3

1. 難しい。
2. 資料が理解しにくい。マイクの活用を。
3. 色々な地震予知の取り組みがあることを知った。専門的すぎた。
4. 電波で地震予知が精度よくできるようになれば、被害者数も減らすことが期待できる。
5. 一日も早く地震予知が可能になるように期待しています。
6. 自分の知識において、メカニズムがよく理解できなかった。
7. 東京の立川活断層のときのように、石ころを活断層と間違えるようなミスがあったことは、地震予知の信頼を失わせるようなケースだと思います。
8. 精度を上げる努力が信頼を上げるためにぜひ必要なので、十分チェックが必要と思います。
9. 予測精度の向上に非常に期待しております。とても興味深いお話でした。
10. ぜひ防災情報として活用できる形にしていきたいです。
11. 擾乱のメカニズムをもっと知りたかった。
12. 地上波も使える VLF を使うことに興味をもった。(今まで FM、短波等は電離層反射のみだとむつかしいと思っていた。)
地震と電離層の低下の関係は実測から分かったのか？理論付けが望まれる。
13. 研究が進んで地震予測ができると思われる話で、非常に興味があった。

14. 専門的すぎて理解できない。
15. もっともっとトライしていかないといけない分野ですが、まだまだ伸びる余地がありそうです。
16. 一般への発信はむずかしいでしょうが、リスク動視するインフラ関係には新たな指標を提示できるかもしれません。
17. 物理分野ではなく、危険学とのつながりを考えてはどうでしょうか。
18. 地震を予測できる方法をもっと研究してほしい。
19. 難しい内容だったので、短時間の講演会では理解できなかった。
20. 現実に解明できれば非常によい事と思います。
21. 今後も、関連する動向や地域での取り組みなどの紹介を期待します。

4 これからの電波利用について、関心のあることや期待することをお書きください。

1. デジタル波の高度利用について
2. 高速移動体通信サービス
3. 信頼性の高い通信制御機器の最新情報
4. 盗聴、盗撮の話
5. 速く正確な緊急情報の伝達ができ、より導入しやすい簡易な手段の開発について
6. スマートグリッド、スマートメータ、BEMS・HEMS等におけるICT技術

5 今後、取り上げて欲しいテーマや講演者等について、ご自由にお書きください。

1. LTEサービスの今後の展開
2. スカイツリーの設計
3. 光通信技術の最新情報
4. ビッグデータの取扱いに関する事項
5. スマート化が進行するなかでの情報セキュリティ
6. コグニティブ無線技術
7. 無線メッシュネットワーク技術